



[文化・芸術のまち京都]

景 011 (H18) 歴 049 (H25)

岐阜で白生地屋を営んでいた施主の山本仁三郎は、大正の頃、京都の室町通鯉山町に支店を構えた後、昭和11年に当地の町家を買取り、昭和15年に住居兼迎賓施設として建て替えました。

中立売通と小川通の両通りに面して、簾子下見板張りの塀が1辺30m以上も続き、中立売通側に表門、小川通側に腕木門（勝手口）があり、敷地中央に主屋、北西角に土蔵が建っています。

主屋は、正方形に近い木造瓦葺本2階建、入母屋の玄関、手摺を緑色瓦で装飾されたタイル張りのテラスなど、近代和風建築の特徴が随所に見られます。玄関東側に、洋間、その北側には縁側に沿って3室の座敷があり、玄関の西側には前庭に面して茶室が設けられています。階段が2箇所あるなど、客用と内用の空間が明確に分けられているのも特徴的です。

祇園祭の宵山、屏風祭で年に一度だけ公開される山本家所蔵の江戸時代初期の作品「曾我物語図屏風」は、美術品としても価値が高く、この屏風がたてられた座敷は一層荘厳で煌びやかです。

現在は住居として使用されており、通常は非公開ですが、年に数回、市民講座などのイベント開催時に公開されています。



洋間



茶室



〒602-0915 京都市上京区中立売通西洞院西入三丁目446

アクセス 地下鉄烏丸線「今出川駅」徒歩12分

ホームページ <https://www.yamamotojin.com/> (山本仁商店)

※仁風庵は個人宅のためイベント等開催時以外は、非公開です。



JINPU\_AN